

1 高齢者個人への支援に関すること

新型コロナウイルス感染症の影響
<ul style="list-style-type: none"> ・自粛生活における活動量の低下により、高齢者の心身機能が低下している。 ・人との接触機会を減らすため、相談できない高齢者が増加している。 ・家族・親族・知人との接触機会の減少のため、身近な人が高齢者の異変に気づきにくい。 ・民生児童委員・在宅福祉委員の見守り方法の変更のため、地域の人が高齢者の異変に気づきにくい。 ・感染拡大防止のため介護保険事業所がサービス提供を休止することで、介護者の負担が増加するほか、権利擁護業務における見守り体制を十分に確保できない。
センター業務への影響（総合相談支援業務、権利擁護業務）
<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な人を早期に把握できない。 ・支援の開始のタイミングが遅れることで、問題が重度化・複合化する可能性がある。
センターでの対応の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守り状況について把握し、必要な支援を検討する。（保健師部会） ・「相談待ち」となっている高齢者へ連絡し、現状確認を行う。（一部のセンター）

2 地域への支援に関すること

新型コロナウイルス感染症の影響
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議や認知症カフェなど、大人数が集まる事業の実施が困難である。 ・自主活動グループや町会、在宅福祉委員会など、集いの場の運営者も対応に悩み、活動を再開できないものもある。
センター業務への影響 （生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業、地域ケア会議推進事業）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の意識醸成や新たな仕組みづくりなど、継続した取組が必要な事業では、成果を出すことが困難になる。 ・地域の支え合いや介護予防のための社会資源が衰退する可能性がある。
センターでの対応の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員や町会役員へ、地域活動の実施状況の聞き取りを行う。（全センター） ・集いの場運営者への感染症対策についての情報提供や運営方法の助言を行う。 （全センター）

3 医療・介護の連携に関すること

新型コロナウイルス感染症の影響
・介護支援専門員や事業所が、感染が拡大した際のサービス提供の休止や遠方に住む家族への対応など、支援に不安を抱えている。
センター業務への影響 (包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント)
・介護保険サービスを利用している高齢者に感染者や濃厚接触者が発生した場合、支援の困難性が増し、センターとして対応を求められる可能性がある。
センターでの対応の工夫
・あらかじめかかりつけ医や緊急連絡先の把握・整理等を行うことで、支援する高齢者が新型コロナウイルス感染の疑いとなった際に対応できるような仕組みづくりを行う。 (保健師部会) ・各種職能団体との懇談会の実施を予定している。(函館市地域包括支援センター連絡協議会、主任介護支援専門員部会)

4 意見をいただきたいこと

- ① 共有しておいた方がよい新型コロナウイルス感染症による高齢者への影響
- ② コロナ禍におけるセンターに期待すること
- ③ 各関係機関や関係団体とセンターで取り組めること、取り組みたいこと